

# 令和4年 **2**月の大阪森林便り



## 今月の木の話 ヒノキ科ビャクシン属

### 天然記念物に多いビャクシン 瀬戸内海岸に名木・古木を見る

- (1) 木製スプーン無料提供 ライフやヤオコー、全店で
- (2) 住宅用木材や菜種高く カナダ水害・寒波、供給に影響
- (3) 国産合板が最高値 流通価格 7%上昇 輸入減で代替需要



## 今月の木の話 ヒノキ科ビャクシン属

### 天然記念物に多いビャクシン 瀬戸内海岸に名木・古木を見る

\*わが国では宮城県以南、沖縄までの海岸地帯に分布生育する常緑針葉樹。

\*ヒノキ科の木はヒノキ属、ビャクシン属のほか、アスナロ属、ネズコ属に大別されます。

\*ビャクシンはイブキとして親しまれていますが、シンパクとも呼ばれる地域もあります。

☆ヒノキ科ビャクシンの天然記念物

| 名称                                 | 所在地          | 特徴  |
|------------------------------------|--------------|---|
| 古長禅寺のビャクシン                         | 山梨県<br>甲西町   | 夢想国師が手植えし、国家安康を祈願。                          |
| 城願寺のビャクシン                          | 神奈川県<br>湯河原町 | 樹高 18M、幹回り 6.3M。約 800 年前に植樹。                |
| 北吉井のビャクシン                          | 愛媛県<br>重信町   | 地上 2Mのところの幹回り 4Mと 3Mの 2本の幹に分かれ、樹高はともに約 20M。 |
| 八幡神社のイブキ                           | 愛媛県<br>宇和島市  | 源義経の手植えと伝えられる。樹齢約 800 年。                    |
| <small>しもかしわ おおほく</small><br>下柏の大柏 | 愛媛県<br>伊予三島市 | 伊予三島市では古くから知られるイブキの老木。                      |
| 恩徳時の結びイブキ                          | 山口県<br>豊北町   | 地上 2Mの所で多数の枝が絡み合い癒合している寄形木。                 |
| 法泉寺のシンパク                           | 山口県<br>山口市   | 根元から 3本の支幹分かれ、各々幹回りが 3.3M、3.1M、3.2Mという巨木。   |

|          |            |   |
|----------|------------|---|
| 宝生院のシンパク | 香川県<br>土庄町 | 樹齢 1500 年、地上 1M の所で 3 本に分かれ、幹回りが各々 7M という我が国最大のビャクシン。 |
|----------|------------|---|

(2008 年発刊 (社) 大阪府木材連合会・大阪木材仲買協同組合発行「天然記念物 巨樹・古木」より抜粋・引用)

## (1) **木製スプーン無料提供 ライフやヤオコー、全店で**

\*スーパー各社が弁当などの購入時に配布するスプーンやフォークといったカトラリーをプラスチック製から木製に切り替えます。

\*4月にプラスチックの削減を促す法律「プラスチック資源循環促進法」が施行することに対応。

\*各社は無料での提供を予定しており、コスト負担は高まります。

(2022 年 1 月 12 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (2) **住宅用木材や菜種高く**

### **カナダ水害・寒波、供給に影**

\*カナダ西部の気象悪化が、様々な商品の需給に影響を広がっています。

\*昨年 11 月の豪雨水害や年末の寒波で生産や物流が停滞し、住宅用木材や菜種などの国際相場や対日価格を押し上げました。

\*顕著なのが住宅用木材で、高値で推移。

・世界的な木材高「ウッドショック」で昨年 5 月に最高値を付けた後は下落基調でしたが、主産地であるカナダ西部の豪雨で現地メーカーが出荷遅れを公表すると急反発。

・現在も港湾機能の停止や鉄道の混乱で出荷が遅れているほか、産地では地すべりの危険性から伐採作業が停止。

\*住宅用木材（製材品）ではカナダが輸入の 3 割弱を占める最大相手国。

(2022 年 1 月 19 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3)  **国産合板が最高値 流通価格 7%上昇**  
**輸入減で代替需要**

- \* 国産の構造用合板の流通価格が 1 カ月ぶりに最高値を更新。
  - \* 針葉樹合板 12mm は、東京地区の間屋卸価格が 2021 年 12 月に比べ 7% 高。
  - \* 需要は堅調。在宅勤務が広がり、仕事をするスペースが取りやすい戸建てへ住み替える需要が郊外を中心に伸びています。
    - ・ 2021 年 11 月の分譲戸建て住宅の着工戸数は 12,509 戸。前年同月に比べ 10% 多く、7 か月連続で増えました。
  - \* 合板の国内流通量の約半分を占める輸入品が減り、需給を一段と引き締められています。
    - \* 主力のマレーシア産は、現地の合板工場の稼働が落ちている模様。
      - ・ 出稼ぎの労働者の確保が難しくなっています。
      - ・ 原料不足で生産を増やせていないといえます。
  - \* 2021 年 12 月の国産針葉樹合板の在庫は、前年同期に比べ 18.4% 減少。
    - ・ 需給均衡の目安とされる 10 万 m<sup>3</sup> を下回ります。
  - \* 杉などの原料の丸太は、国産の製材品の需要増で値上がりが続きます。
  - \* 接着剤価格も上昇するなど、合板の製造コストは上がっています。
  - \* 木材価格は、土地代を除いた住宅価格の約 1 割を占めます。
- (2022 年 1 月 27 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

